

会 派 代 表 質 問

(通 告 内 容)

平成 2 6 年 第 1 回 那須塩原市議会定例会 (3 月)

【代 表 質 問 者】

TEAM 那須塩原代表

1 6 番 君 島 一 郎 議 員

五峰クラブ代表

1 3 番 磯 飛 清 議 員

公明クラブ代表

1 2 番 鈴 木 紀 議 員

志絆の会代表

1 4 番 眞 壁 俊 郎 議 員

受付番号	平成 26 年 2 月 17 日
第 / 号	午後 10 時 0 分受付

平成 26 年 2 月 17 日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

会派名 チーム那須塩原

議席番号 16 番 君 島 一 郎



会 派 代 表 質 問 通 告 書

平成 26 年第 1 回那須塩原市議会定例会における会派代表質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 市政運営方針について	平成 26 年度市政運営方針より、大きく 4 点についてお伺いいたします。
	(1) 自然と共生するまちづくりから、本市の多様な再生可能エネルギーの利活用の推進として、太陽光発電システム設置補助とありますが、市民ファンドとの関係はどのようになるのか、お伺いします。
	(2) 快適で潤いのあるまちづくりから、
	① 予約ワゴンバスの更なる利便性の向上と効率化を目指してとありますが、予約ワゴンバス運行後半年近くたちますが、利用者等からの意見はどのようなものがありますか。また、障害者や高齢者に対し、door to doorのサービスを行うお考えはありますか。
	② オーストリアのリンツ市との姉妹都市締結の理由及びメリットは何か、お伺いします。
	(3) 健やかに安心して暮らせるまちづくりから、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域見守り支援合い事業とは、どのような事業なのかお伺いします。

受付番号	平成 26 年 2 月 17 日
第 4 号	午前 11 時 15 分受付

平成26年2月17日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

質 問 者 議席番号13番 五峰クラブ

磯 飛 清 印

会 派 代 表 質 問 通 告 書

平成26年第1回那須塩原市議会定例会における会派代表質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 市政運営方針について	阿久津市長においては「変革」の公約を掲げ、市長就任以来二
	ヵ年が経過いたしました。その間、公約の実現に向け、改革の推
	進等、「行・財政改革」に努めてこられました。
	その実績から、平成26年度の市政運営方針には「このまちに生
	まれてよかった、住んでよかった」のフレーズに「人々から選ば
	れるまちづくり」という活力あるフレーズを加えることが出来る
	ことは、この二年間の市政運営における実績、効果の表れと捉え
	ております。
	また、今般、新庁舎建設や継続する放射能対策事業等、大型投
	資を控える中、「中・長期財政の見直し」が図られ、大いに評価す
	るところであります。
	以下、総合計画7つの政策体系より平成26年度の主要事業に
	ついて伺います。
	(1)「快適で潤いのまちづくり」について
	①放射能対策事業の進捗状況について伺う。
	②除染作業が済んだ公共施設や一般住宅等の廃棄物の一次保管
	場所の管理について伺う。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(2)「健やかに安心して暮らせるまちづくり」について
	①児童福祉政策の保育園の待機児童「ゼロ」実現について伺う。
	②保険・医療政策の中核病院支援について伺う。
	(3)「安全で便利なまちづくり」について
	防災安全交付金事業の11路線整備事業について伺う。
	(4)「豊かな心と文化を育むまちづくり」について
	生涯学習の推進における「教育祭」について伺う。
	(5)「創意と協働によるまちづくり」について
	定住促進を図る事業について伺う。
2. 平成26年度一般会計・特別	この時期になると、国・県をはじめとして市町村の新年度予算
会計予算について	が報じられ、新年度に向け各自治体の政治の取り組みや地域情勢
	を垣間見ることが出来、大変参考になるところでもあります。
	本市においても、平成26年度一般会計当初予算の総額は480
	億円が計上されたことから伺います。
	(1)予算編成にあたっての考えを伺う。
	(2)税収の柱となる、市税収入について伺う。
	(3)放射能対策事業における予算を伺う。
	(4)特別会計国民健康保険税について伺う。
3. 教育政策について	文部科学省は世界で活躍できるグローバル人材を育てるため
	2020年をめどに「英語教育改革プラン」を発表しました。
	本市における小中学校の英語教育についての取り組みを伺いま
	す。

受付番号	平成 26 年 2 月 17 日
第 2 号	午前 午後 10 時 15 分受付

平成 26 年 2 月 17 日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号 12番 公明クラブ 鈴木 紀



会 派 代 表 質 問 通 告 書

平成 26 年第 1 回那須塩原市議会定例会における会派代表質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1 平成 26 年度市政運営方針について	平成 26 年度市政運営方針が示されました。市長は就任から 3 年目を迎え、まちづくりの方向性として将来を見据えた、定住促進に向けた取組のためのキーワードを「このまちに生まれてよかった、住んで良かった」と実感していただき「人々から選ばれるまちづくり」「人口の減らない、まちづくり」としました。 市政の基本方針として特に「雇用の創出」「子育て環境の充実」「特色ある教育の推進」「快適な生活への支援」などを重点施策として取り組むとしています。「子育て環境の充実」では、待機児童解消に向けての取組、予防接種事業、子ども医療費助成事業など非常に評価するところであります。また、「特色ある教育の推進」についても、いじめコンソーシアム事業、英語教育推進事業、ICTを活用した事業など、まさにグローバル化の中で進めていかなければならない事業ではないかと思います。「快適な生活への支援」については、防災力強化に向け防災士育成、防災倉庫の整備など充実を進めていただきたいと思います。また、学校教育の中で防災教育は実施していますが、更なる強化を進める事が重要で、地域を巻き込んでの避難所生活訓練も必要と思います。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	公共交通については、更なる利便性、効率性を目指すのと併せて、今一步進んだ公共交通を検討する事も市民にとって快適な生活環境になると感じます。また、老人ホームへの高齢者入所待機解消に向けての対応も気になるころではありますが、障害者福祉サービスの充実を目指すなど一定の評価を致すところです。
	以上の観点から伺います
	(1)「雇用の創出」では、国、県と密接な連携を図り、雇用の安定確保などに係る啓発活動に努めるとありますが、具体的にお聞かせください。また、流通関連企業をはじめ、企業立地の促進についても具体的にお聞かせください。
	(2)新庁舎建設について、懇談会を立ち上げ、設置場所、スケジュールなど具体的に検討に入りたいとお考えですが、当然財源、規模などについても検討すると思います。詳細をお聞かせ下さい。
2 中・長期財政の見直しの基本的考え方について	中・長期財政の見直し(改訂版)の基本的な考え方について、新庁舎建設事業に伴う財政確保などの要因を考慮し、計画期間はそのままに見直したとありましたので、以下の点を伺います。
	(1)新庁舎建設にあたって、現在8億円の新庁舎整備基金に、今後4年間で12億円積み増しし、さらに合併振興基金や合併特例債によって合計73億円とされるとありますが、新庁舎建設に係る試算はどのようなになされたのか伺います。
	(2)現在でも資材や賃金の高騰が続いているといわれています。今後、東京オリンピック・パラリンピックの整備が始まると、この傾向はさらに加速されると懸念されます。また、消費税の

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	増税もあります。財源の確保にはこれらを考慮されているのか伺います。
	(3) 今回は平成32年度までの推移であります、その後の予算規模と市債残高の推移をどのようにみているのか伺います。
3 教育行政について	現在、国政では、教育委員会改革議論が進められていることが、報道を賑わせております。この教育委員会改革について、公明党の山口代表は1月30日の参院本会議で「教育の中立が保てるのか、疑問を禁じ得ない」と指摘しております。私も、教育については、「政治的介入があってはならない」ことが根本であると考えております。また、今回、那須塩原市子どもの権利条例の制定が上程されました。子どもの教育環境は、良い方向に向いてはいりますが、子どもの教育環境については、何が大切で、何が課題なのか、何を基本に教育を進める必要があるのか、教育委員会制度改革についてと、併せて阿久津市長の所感をお聞かせください。
4 消費税率8%アップの対応について	社会保障と税の一体改革で、消費税率が本年4月より8%にアップされます。消費税率アップに伴う負担軽減策として支給される低所得者向けの臨時福祉給付金や子育て世帯向けの臨時特例給付金の実施主体は自治体（市区町村）であります。 どちらの給付金も受け取るには、申請手続きが必要になり、対象者全員にきちんと周知しなければなりません。低所得者への臨時給付金は自治体から「課税情報の守秘義務により対象世帯に

受付番号	平成 26 年 2 月 17 日
第 3 号	午前 11 時 0 分受付

平成26年 2月17日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

会派 志絆の会

議席14番 眞 壁 俊 郎



会 派 代 表 質 問 通 告 書

平成26年第1回那須塩原市議会定例会における会派代表質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 定住促進について	平成26年度市政運営方針の中で阿久津市長は、我が国の人口は、今後、急速に減少することが予測されており、那須塩原市においても少子高齢化の進展、若者の減少、地域の賑わいの喪失など、まさに先を見通した対応が必要不可欠としています。そのためにも全身全霊を傾け、定住促進に向けた取り組みを推進し、那須塩原市が目指す持続可能な社会の構築や、個性を活かしたまちづくりの取り組みの実現に向け、邁進していくとの力強い方針が示されました。定住促進については、人口減少、少子高齢化の急激な進展の中で、那須塩原市の将来に大変重要な施策であることから伺うものです。 (1) 市民の皆さまから「この町に生まれてよかった、住んでよかった」と実感していただき「人々から選ばれるまちづくり」「人口の減らないまちづくり」に全力で取り組むなど、定住促進に向け並々ならぬ意欲を感じます。那須塩原市の将来について市長の所見を伺います。 (2) 那須塩原市定住促進計画について、計画策定の趣旨・現状・課題・目標・重点施策・推進体制等について伺います。 (3) 多自然を生かした「地域内のエネルギー・食料等の自給構造の確立」と他地域との差別化による交流人口・定住人口増」を目指し、昨年12月18日に那須地域定住自立圏構想の中心市宣言が行われました。構想の進捗状況と今後のスケジュール等を伺います。
2. 平成26年度予算について	平成26年度予算については、将来にわたり持続可能な財政運営を維持していくため、支出を収入の範囲内に抑え、余剰を将来のために蓄積し再投資するとともに、積極的に少子化対策や定住促進施策等に基づく事業を展開していく予算編成としています。編成にあたってのキーワードを「人々から選ばれるまちづくり」とし、将来にわたり活力ある発展を可能とするための予算となっており、少子高齢化・人口減少社会を見据えた那須塩原市の将来にとって、大変重要な予算であることから伺うものです。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(1) 平成26年度当初予算については、昨年比3億8000万減の480億円と前年比0.8%下回ったものの、放射能対策費の減額分を差し引くとかなり積極的予算と思うがどのような考えか伺います。 (2) 平成26年度当初予算の柱の中で、持続可能な行財政運営への取り組みが示されているが具体的にどのようなことか伺います。 (3) 公約・特命・キーワード事業で約130億4800万円が計上されているが新規事業や特に力を入れる事業について伺います。 (4) 枠配分予算の考え方について伺います。
3. 庁舎の建設について	今回、市政運営方針の中で新庁舎の建設については、東日本大震災以降、当面延期することとしていたが、市民等で組織する懇談会を立ち上げ、建設場所やスケジュールなどの具体的な検討に入りたいとしています。現段階でどのような進め方をするのか伺います。

市 政 一 般 質 問

(通 告 内 容)

平成 2 6 年 第 1 回

那須塩原市議会定例会

(3 月)

【一 般 質 問 者】

5 番	佐藤	一則	議員	1 番	藤村由美子	議員
8 番	大野	恭男	議員	7 番	櫻田 貴久	議員
3 番	相馬	剛	議員	4 番	齊藤 誠之	議員
2 3 番	平山	啓子	議員	1 1 番	高久 好一	議員
1 0 番	松田	寛人	議員	2 0 番	山本はるひ	議員
2 番	星	宏子	議員	2 5 番	人見 菊一	議員

受付番号	平成 26 年 2 月 10 日
第 / 号	午前 午後 8 時 30 分受付

平成 26 年 2 月 10 日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号 5 番 佐藤 一則



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成 26 年第 1 回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 防災対策について	現在、台風や豪雨による土砂災害発生のある際の危険性の周知の一つとして、黒磯地区は、総務省から黒磯那須消防組合に割り当てられたアナログ電波を使用するスピーカー付屋外拡声子局 5 5 局、西那須野地区は同じく総務省から大田原広域消防組合に割り当てられた 1 3 局の消防団緊急伝達システム、塩原地区は防災行政無線 1 8 局により伝達されています。しかし、2016 年 5 月末でアナログからデジタル化されますので、現在の黒磯地区と西那須野地区の伝達システムは使用できなくなります。 また、総務省消防庁は、大規模災害時の消防団の対応力を強化するため 26 年ぶりに消防団装備の基準を一新することを決定しました。津波襲来の情報が伝わらず多くの団員が犠牲になった東日本大震災を教訓に、携帯用無線機の配備拡充などが盛り込まれます。基準は各市町村が、放水器具などの消防団の装備を整える際の目安とするものです。それを踏まえて、今後本市はどのように取り組むのか次の点について伺います。 (1) デジタル化された以後の本市の緊急伝達システムをどのようにするのか伺います。 (2) 消防団の新装備の導入時期と装備内容について伺います (3) 大規模化、多様化する災害に備え配備される資器材の増加等に対応するための消防団の訓練回数はどのようになるか伺

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	いします。
2. 子どもの貧困対策について	子ども期の経済的困窮は、衣食住の不足のみならず、健康、発達学力などにも影響し、自己肯定感低下にもつながり、孤独が深まる中で支援が届かなければ、社会で生きる上での「不利」が積み重なり雪だるまのように大きくなってしまいます。貧困は自ら声を発することなく30代の4人に1人が非正規雇用となり、もはや若ければ安定した仕事に就ける社会ではありません。それでも「自分が悪いから」と支援を求めず、困窮は深まり、貧困の発見が遅れ、抜け出せなくなります。こうして次世代に貧困が連鎖していきます。子どもの将来が生まれ育った環境によって左右されないよう「子どもの貧困対策推進法」が2013年6月成立しました。少子化対策と比べ、貧困対策は置き去りにされてきましたが、初めて「子どもの貧困」に焦点を当てた法律の意義は大きく、恵まれない子どもを救うという発想ではなく、生きる、守られる、育つ、参加するといった「子どもの権利」を保障することが必要と思いますので、本市の取り組みについてお伺いします。 (1)相対的貧困者を、どのようにして把握しているかお伺いします。 (2)奨学資金貸与は、どのようにして決定されるのかお伺いします。 (3)就学援助は、どのようにして決定されるのかお伺いします。 (4)奨学資金及び就学援助を受けた人数は、どのくらいいたかお伺いします。 (5)奨学資金や就学援助を受けた児童・生徒がその後本人の望む道に進んでいるのかどうかお伺いします。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
3. 学習指導要領について	約10年ごとに改定される学習指導要領が、学力低下批判を受け
	内容を厳選した「ゆとり教育」から転換して、小中学校が2007年
	度、高校が2008年度改定され、小学校が2011年度、中学校が
	2012年度、高校は2013年度から全面実施されました。
	小学校6年間の総授業時間を278時間増の5645時間、中学校3年
	間は105時間増の3045時間とし、内容も大幅に増えました。
	文部科学省は、昨年末に学習指導要領を2016年度に全面改定する
	方針を固めました。小学校では正式な教科でない「外国語活動」
	として小5から実施している英語の開始時期を小3に前倒しし、
	小5, 6年は教科に格上げする。3, 4年は週1～2時間、5,
	6年は週3時間実施の予定。現行指導要領で時間数が減った「総
	合的な学習時間」については、現状の時間を維持する方向。国語
	や算数など主要教科の時間数は維持され、英語分が純増となる見
	込みで、中学校は、英語の授業を原則、日本語を使わずに英語で
	実施する。小中で教科化する道徳は、2014年度に改定し、2018年
	度からの全面実施を目指しています。それを受けて本市の考えを
	お伺いします。
	(1) 学校現場で定められた授業時間をこなすための課題と対策に
	ついてお伺いします。
	(2) 中学校の英語の授業について課題と対策をお伺いします。
	(3) 小中学校で教科化される道徳の授業について課題と対策をお
	伺いします。

受付番号	平成26年 2月 10日
第2号	午前 午後 11時 30分受付

平成26年 2月10日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号 1 番

藤村 由美子



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成26年第1回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 市有財産の有効活用について	平成17年の合併から早9年が経過しました。長期的展望では人口減少、少子高齢化、不安定雇用による税収の減少など、きびしい現実が差し迫っており、地方自治体にとっては生き残りをかけた定住自立圏形成協定が進み、今後さらに行政事務の広域化が予想されます。負の遺産を将来に残さないために、重複したもの、老朽化したもの、利用率が低いものなど、市有財産についてはしっかり見直しを進めていかなければなりません。そこで、去る1月11日から2月2日までの期間、パブリックコメントとして市民に意見募集された「市有財産の有効活用に関する基本方針(案)」についてお伺いします。 (1)パブリックコメントの実施結果についてお伺いします。 (2)この基本方針案の位置づけと今後の施策の展開についてお伺いします。 (3)基本方針案に記載されている課題等についてお伺いします。 (4)未利用市有地についてお伺いします。
2. 黒磯駅前および周辺地域活性化について	平成26年度から実施される「黒磯駅周辺地区都市再生整備計画」に基づいて様々なハード事業が予定されていますが、市民にとつ

受付番号	平成 26 年 2 月 13 日
第 3 号	午後 3 時 30 分受付

平成 26 年 2 月 13 日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号 8 番

大野 恭男



市 政 一 般 質 問 通 知 書

平成 26 年第 1 回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を以下の通り通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 高齢者福祉事業について	高齢者福祉事業は、市の重要な施策と思われます。 「高齢者が住み慣れた地域で健やかにいきいきと暮らせるまちづくり」を基本理念にし、第5期那須塩原市高齢者福祉計画が、計画通りに進められていると思います。そこで以下の点についてお伺いします。 (1) 第5期那須塩原市高齢者福祉計画における施設整備の進捗状況及び今後の計画を伺います。 (2) 「地域包括ケア」の実現に向けて、那須塩原市としてどのように取り組んでいるか。また、課題があるとすれば何かお伺いします。 (3) 独居高齢者数及び高齢者世帯数と高齢者の安否確認における現状についてお伺いします。 (4) 認知症高齢者の現状と支援策について、お伺いします。 (5) 要支援認定の方が、国の施策により介護保険から切り離される予定になっております。この件に関しての考えと対応についてお伺いします。

受付番号 第 4 号	平成 26 年 2 月 13 日 午前 4 時 00 分受付 (午後)
---------------	---

平成 26 年 2 月 13 日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号 7 番

櫻田 貴久



市 政 一 般 質 問 通 知 書

平成 26 年第 1 回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を以下の通り通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 那須塩原市のブラン ド化について	2013 年 12 月に那須塩原市地域活性化アイデアコンテストが開かれました。高校生、大学生、一般の部門の発表があり、本市を真剣に考えてくださっていることに深く感謝し、また、この事業が永遠に続くことに期待したいと思います。日本の魅力は地方にあると言われながら、その魅力をうまく発信できていない地域が多いのも現状です。一方、その土地ならではの魅力をうまくブランディングし、世界にも知られるようになっている地域もあります。例えば、2013 年のグッドデザイン賞の 100 に選ばれた、熊本県の「くまもん」、佐賀県の「武雄市図書館」、山梨県の「ワインツーリズム やまなし」等、ブランディングが成功している地域があります。 そこで地域ブランドの構築について以下のとおりお伺いします。 (1)本市をブランド化するためには、本市の強みをどのようにつけているのか、お伺いします。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 （ 詳 細 に ）
	(2)本市をブランド化することが差別化の有力な手段にな がることから、本市ならではの市民へのサービスに ついて、お伺いします。
	(3)本市をブランド化していくには、まちづくり全体を視 野に入れた幅広い政策の展開をする必要があります。 そこで高齢化社会への対応と、地域住民の生活環境の 向上への政策について、お伺いします。
	(4)地域ブランドのつくり方についての、本市の考え方と 取り組みについて、お伺いします。
2. 本市のインバウンド	中国からの誘客促進に向け、本市は日本旅行が上海市
戦略について	に置く子会社と誘客業務の委託契約を締結しました。県
	内自治体が中国本土に観光客誘致拠点を開設したのは初
	めてのことでした。日本を訪れた外国人旅行者が201
	3年に政府目標の1千万人を初めて突破、2030年に
	は3千万人と言う長期目標もあることから、本市のイン
	バウンド戦略について、以下のとおりお伺いします。
	(1)本市の外国人誘客の推進についての基本的な考えをお 伺いします。
	(2)海外の旅行エージェント等の宣伝活動、海外への情報 発信をどのように考えているのか、本市の取り組みに ついてお伺いします。
	(3)受け入れ体制の整備と地域づくりの推進について、本 市の取り組みについてお伺いします。
	(4)今後グローバル化の進展と外国人旅行者の増加に伴う 本市の対応と、将来の受け入れ態勢についてお伺いし ます。

受付番号	平成 26 年 2 月 14 日
第 5 号	午前 3 時 40 分受付 午後

平成 26 年 2 月 14 日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号 3 番 相馬 剛



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成 26 年第 1 回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1、児童生徒の体力・運動能力について	昨年 11 月に平成 25 年度全国体力・運動能力調査結果が公表され、小学 5 年生の握力とボール投げは過去最低の記録であり、総合点でも 24 年度を下回るなど全国的に子どもの体力低下が指摘されております。 子どもの体力は、日常生活のケガや病気に影響するだけでなく、大人になってからの危機回避能力にも影響する可能性があり、また地域にとっても生産能力の低下や医療費増加という点にも係わってくると思われます。このような点から次の質問をいたします。 (1)本市での、体力・運動能力測定結果の過去 5 年の推移を伺います。 (2)全国平均と比較して、本市の結果と所見を伺います。 (3)子どもたちの体力・運動能力向上に対する取り組みを伺います。
2、市民のメタボ対策について	県保健福祉部は良質な医療確保と医療費抑制を図るため、医療費適正化計画に於いての第 1 期（平成 20 年～24 年）の達成状況を公表しています。その中でメタボリック症候群の該当者を 10%削減、とした目標に対し 2.1%増という結果になっています。

受付番号	平成26年 2月14日
第 6 号	午前 5 時 00分受付 <u>午後</u>

平成26年 2月14日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号 4 番 齊 藤 誠 之



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成26年第1回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 安心した子育て支援について	平成26年4月より消費税が8%に引き上げられ、この消費税の増税分を活用した社会保障4経費（年金、医療、介護、子育て）の中に、新たに子育て分野の社会保障にも充当され、子ども・子育て支援の充実が図られます。国は待機児童解消加速化プランを示し、潜在ニーズを含めた待機児童の解消を強力に進めるとしており平成27年度には子ども、子育て支援新制度がスタート致しますが、那須塩原市においても待機児童解消に向け、保育整備計画（後期計画）を掲げ、総力を挙げて取り組まれている中で以下の点についてお伺い致します。 (1) 2015年度から「子ども、子育て支援新制度」がスタートしますが、それに先立ち本市で行われている待機児童対策についてお伺い致します。 (2) 待機児童ゼロを目指す、今後の本市の取り組みについてお伺い致します。 (3) 女性の働き方も多様化している今般では、その多様化に対応できる施設も充実する必要があると思いますが、本市の考えをお伺い致します。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(4)「子ども子育て支援新制度」では、親の生活スタイルにかかわらず、保育と幼児教育の両方を受けられる幼保連携型の「認定こども園」の普及、推進を看板として掲げていますが、本市の現況についてお伺い致します。
	(5)本市の今後の「認定こども園」の普及、推進についての計画についてお伺い致します。
	(6)地域の実情にあった子育て支援施設を自治体の責任と権限のもと、整備する必要があると考えますが、それに伴い保育士の確保並びに質の向上が必要だと考えますが、本市の取り組みについてお伺い致します。
	(7)働きながら子育てをしたい、女性のワークライフバランスを実現する為に本市のサポート体制についてお伺い致します。
	(8)安心して子どもを産み育てられる市へ、若い世代が子育てや仕事をしやすい環境を整えるための本市のコンセプトをお伺い致します。
2. 学校の危機管理対策について	(1)過日、全国各地でインフルエンザやノロウイルス等の感染によるニュースが取り上げられております。特にノロウイルスによる感染性胃腸炎の学校での大量感染は大きな問題になっています。
	子ども達の通う学校ではその感染リスクは非常に高いものであり、感染を塞ぐ手立てに本市においては、本年度から学校給食に関わる安全管理として、衛生管理の徹底についてはノロウイルスによる食中毒対策として、調理員などに対する検査を実施しておりますが、以下の点についてお伺い致します。
	①現在行っている検査の効果についてお伺い致します。
	②協力業者への対応についてお伺い致します。
	③緊急時の対策についてお伺い致します。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(2) 文部科学省では、学校内外において不審者による子どもの安全
	を脅かす事件、今回の東日本大震災のような地震、台風等による
	風水害等の自然災害や交通事故が発生しているため、地域ぐるみ
	で子どもの安全を守る環境の整備を推進するとともに、子どもが
	自ら安全な行動をとれるようにするための安全教育を支援するな
	ど、学校安全の取組を推進する。「子ども安心プロジェクト」を推
	進しております。各学校では、学校や地域の状況に応じた学校安
	全に関する取組が行われてきているものの、登校中や外出中に子
	どもが不審者に声をかけられたりする事案や事件が本市において
	も未だに発生しております。また全国的にみれば過去に小学校へ
	不審者が侵入した悲慘な事件も起こっております。
	当市においてもすでに学校の危機管理はされているとは思われま
	すが、以下の点についてお伺い致します。
	①学校構内安全組織の整備状況、学校安全点検の実施状況をお伺
	い致します。
	②教職員の危機管理意識の定着のための実践的研修や訓練の実
	施状況をお伺い致します。
	③職員玄関、昇降口、校門や教室等の不審者侵入防止対策の状況
	をお伺い致します。
	④防犯機器、器具等の設置状況、並びにその器具の取扱いの全教
	員への運用指導状況、また今後機器の設置計画等があればお伺い
	致します。
	⑤子ども達への防犯に関する教育実施状況をお伺い致します。

受付番号	平成 26 年 2 月 17 日
第 7 号	 午後 8 時 45 分受付

平成 26 年 2 月 17 日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号 23 番 平 山 啓 子 

市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成 26 年第 1 回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 生きがいづくりの一環として	健康で長生きを目指すことは多くの国民が望むところです。人生を最後まで元気に総仕上げすることを願い、健康寿命からもう
	一步進めて、労働寿命の延長、つまり働く寿命を延ばすことがで
	きれば健康維持にも結び付き、高齢社会を乗り切る道ではないで
	しょうか。
	生きがいづくりの一環として、高齢者による福祉施設でのボラ
	ンティア活動に対して、介護支援ボランティア・ポイント制度を
	導入する自治体もあることから、伺いたいします。
	(1)介護支援ボランティア・ポイント制度の本市にとっての、
	メリット、デメリットについて、伺います。
	(2)介護支援ボランティア・ポイント制度の先行事例の調査、検討
	について、伺います。
	(3)介護支援ボランティア・ポイント制度を導入する考えについて
	伺います。
2. 納税のあり方について	消費税が 8%に引き上げられる日が迫ってきました。生活をどう
	切り詰めようかと真剣に考えている方も多いと思います。超高齢
	化が進む中、年金生活をしている市民は年々増加する一方、年金

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	暮らしのお年寄りにとって年6回受け取る年金からの納税は大変
	厳しいとの声も上がっています。
	納めやすい環境づくりと、納付の厳しい方への対応が必要かと
	思うことから、伺いいたします。
	(1)納めやすい環境づくりについて、伺います。
	(2)納付の厳しい方への対応について、伺います。
	(3)納税相談の実績と職員の対応について、伺います。
3. 「がん教育」について	今や日本人の2人に1人が人生で一度は「がん」になり、3人
	に1人は「がん」で亡くなると言われています。
	教育現場においては「がん教育」はほとんど実施されていない
	のが現状ですが、未来を担う子どもに「がん」に関する適切な知
	識を与えていくことが必要と考えます。
	東京大学医学部附属病院放射線科准教授の中川恵一氏が講師を
	務める健康教育プログラム「生きるの教室」は、全国の中学2年
	生を対象に、がんの予防と治療に関する学習を通じて生きる力を
	育むために開催をしていることから、伺いいたします。
	(1)「がん教育」は必要と考えるが、本市の考えについて伺います。
	(2)「生きるの教室」の採用について、伺います。

受付番号	平成 26 年 2 月 17 日
第 8 号	午前 9 時 30 分受付 午後

平成 26 年 2 月 17 日

那須塩原市議会議長 中村 芳隆 様

議席番号 11 番 高 久 好 一 

市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成 26 年第 1 回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 放射能対策について	東電福島第一原発事故による放射能被害対策が進められている。以下について、市の対策と考えを求める。
	(1)当市と那須町で、宇大グループによる幼児を持つ世帯の被ばくアンケート結果や県有識者会議のシンポジウムが行われた。
	その結果による市民の健康不安や反応について、市はどう捉えているか。
	(2)環境省が民間団体に委託し、被ばく線量を調査する新規事業が予算案に盛り込まれた。市は調査に参加すべきと思うがいかがか。
	(3)東電の風評被害見直しに観光事業者等が継続を求め、国・県へ要望書提出を進めたが、そのことに対し市はどう支援したのか。
	(4)自前で除染を行ったが、賠償に至らない市民への支援を求める。
	(5)指定廃棄物の最終処分場の選定問題で、ローカルルール決定に至る経緯を伺う。さらに、この決定に至るまでに本市はどのような主張をしたのか。また、当市が選定された場合の考えを求める。
2. 市民成年後見人の養成について	高齢者の増加にともない、認知症の本人に代わって法律行為などを行う成年後見人制度がある。
	(1)市の支援による後見人養成を行い、顔が見え、市民が身近で

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	安心して任せられる制度として市民後見人制度をつくるべきと思うが、市の考えを求める。
3. みなし寡婦控除の適用について	婚姻歴のない母子世帯は、所得税法上の寡婦控除の対象にはならないため、税の控除や保育料等の減免などが受けられません。 結婚歴の有無によって生じる経済的な不利益を是正する目的で、市独自にみなし寡婦控除を適用し、一人親世帯を支援しようとする自治体が増えてきましたが、本市の考えを伺います。
4. 住宅リフォーム助成制度創設について	市民が住宅の新築やリフォームを行った場合に経費の一部を市が助成することにより、住宅の改善を促進し、市内中小事業者の仕事づくりや地域内経済の循環にもつながっている。 (1)市は、県内で実施している自治体の経済波及効果をどのように把握しているか。 (2)全国で、6 県と 556 自治体に制度実施が広がるなか、国も事業の予算化を行った。 市は独自の制度を創設すべきと思うが、市の考えを求める。
5. 子育て支援新制度について	新制度の実施に向け、市は市内の私立幼稚園の認定子ども園への移行で待機児童の解消を推進するとしている。 基準と質の確保について市の考えを求める。 (1)保育所以外の施設は、保護者と施設の「直接契約」となるが、市の保育の実施責任はどのように確保されるのか。 (2)人員は国の基準とし、自治体の裁量により面積で低い基準になることが懸念されるが、どのように確保されるのか。 (3)保育所への保育士の配置基準が緩和されるが、子どもの命に関わる大問題として多くの父母や保育団体が反対している。 市は保育の質をどう確保するのか。

受付番号	平成26年 2 月 17 日
第 9 号	午前 〃 時 〃 分受付 午後

平成26年 2月17日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号 10番

松 田 寛 人 

市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成26年第1回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 政権交代 (国・県との対応)	第二次安倍政権が発足してから1年あまり、「日本を取り戻す」
について	という強い決意のもと、様々な分野において掲げた政策は、確実にその成果を挙げつつあります。大胆で次元の違う経済政策「三本の矢」によって、日本を覆っていた暗く重い空気は一変しました。4半期連続でプラス成長。GDP五百兆円の回復も視野に入ってきました。リーマンショック後0.42倍まで落ち込んだ有効求人倍率は、6年1か月ぶりに1.0倍を回復。冬のボーナスは、連合の調査によると、平均で1年前より3万9千円増えました。
	北海道から沖縄まで全ての地域で、一年前と比べ、消費が拡大しています。中小企業の景況感も、先月、製造業で6年ぶり、非製造業で21年10か月ぶりに、プラスに転じました。安倍首相は施政方針演説で言っておられた「この道しかない」との強い意志のもと、今後も政策を確実に実現させていくことでしょう。また、
	昨年の参議院選挙における国民の審判により、6年ぶりに衆参の「ねじれ現象」が解消され「次期参議院選挙が行われる2年半後までは国政選挙が無い」と想定されると思います。
	また、第186回国会における代表質問で石破幹事長は次のよう

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	に演説しております。「安定政権は、ともすれば『強引な政権運営』
	というような批判にも晒されます。政策を確実に実現させていく
	ために、今まで以上に『謙虚で丁寧』な政権運営・国会運営を心
	がけねばならないことを我々自民党は強く肝に銘じております。」
	まさにその通りであります。今後市長はじめ執行部の皆様も「謙
	虚で丁寧」な市政運営を目指していただけるようお願い致します。
	そこで、政権交代後、国・県が本市にどのような関わりと対応
	があったのかについて伺います。
	(1) 政権交代により、本市にどのようなメリットがあったのか伺
	います。
	(2) アベノミクスの期待は、経済再生において必要不可欠だと思
	うが、本市の経済再生についての計画をお伺いいたします
	(3) 今後、国・県のさまざまな政策を本市としてどのように取り組
	むのかについて、現在進行しているもの、これから取り組もう
	としているものを具体的に伺います。
	(4) 自公連立政権与党（国・県）に対し、本市としてはどのよう
	な放射能問題の対応を求めるべきか伺います。
	(5) 国・県とのパイプを、今後どのように構築していくかについ
	て市長の考えを伺います。
2. 再生可能エネルギーについ	現在さまざまな再生可能エネルギー事業を行っているが、現在
て	の進捗状況、また今後考えている新規事業を伺います。

受付番号	平成26年2月17日
第10号	午前 11時25分受付 午後

平成26年 2月17日

那須塩原市議会議員 中村芳隆様

議席番号 20番

山本はるひ印

市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成26年第1回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 当初予算編成の考え方について	予算は、市民が納めた税金の使途を1年間の行政サービスの量として市民に示すものです。そのため、予算には納税者である市民の意見や要望が、政策にそってまとめあげられていなければならないと考えます。 また、議会は市民の代表として提案された予算を審議するうえで、市の予算編成に対する基本的な考え方も踏まえ、かつ論議し決定しなくてはならないものです。そこで、当初予算の審議をしていくうえで重要なポイントとなる「予算編成の基本的な考え方」について、伺います。 (1) 予算編成のキーワード「人々から選ばれるまちづくり」について 私は「誰かに選ばれるまち」を目指す前に、今ここに暮らしている市民を守っていく政策を最優先にしていくことが重要なのではないのかと考えています。政策は、省略されていますが、国で行うものには「国民」、県は「県民」、当然ながら市の政策には「市民」が頭につくものと理解しています。 そこで、今回のキーワードにある「人々」とは具体的に誰を指すのか、さらに「編成のポイント」に列挙されているキーワード(KW)事業が、その誰と、どのように関わっているのか伺います。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(2) 市債の考え方について
	改訂版「中・長期財政の見通し」に基づき、中間型シナリオを選択し、市債の発行と残高の抑制及び複数年での総量管理を行い、計画的な財政運営を行うとされています。当初予算で市債は、臨時財政対策債も含め、対前年度比 15.8%増の 41 億 4 千百万円が計上されています。「中・長期財政の見通し」との関係をどのように整理し、市債計画を立てているのか伺います。また合併特例債に馬場整備事業が計上されていますが、改めて市の合併特例債事業に対する事業選択の考え方について伺います。
	(3) 「分度推議」の考え方について
	私は、いわゆる「入るを量って、出るを制す」という財政状況に、今はないと考えています。むしろ「出る」をしっかりと選択し「入る」を制していかなければならない財政状況ではないでしょうか。
	一般会計の予算総額 480 億円の歳入内容を見ると、財政調整基金 8 億 4 千万円を取り崩して一般財源に充て、重複しますが 41 億 4 千百万円の市債を発行しなければ歳出に対する不足分を補えない、というのが現状ではないでしょうか。このようなことから「支出を収入の範囲内に抑え」という予算編成の考え方に、少し無理があるように思えますので、「分度推議」の考え方と併せて伺います。
	(4) 平成 26 年度当初予算の柱について
	予算の基本である「単年度主義」「通年主義」を維持し、義務的経費等を計上、とあります。予算の基本である「通年予算」ということが、予算の柱として明記されていることは、自明のこととはいえ財政の健全性や透明性、さらには予算審議という観点からも大いに期待するものです。この「考え方」や「柱」は、全職員が一丸となって共通認識の下に執行していかなくは実現が難しいものだと思います。職員への周知等は、どのように行っているのか伺います。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
2. 小中学校の環境整備と子どもの	小中学校の教員は、授業において教科を教えることが本来の仕事です。
学習環境について	実際には授業以外の様々な仕事があり、それらに多くの時間をとられ、子どもたちと向き合う時間や授業準備に時間をかけることができにくい状況になっています。さらに、義務教育は無償ということになっていますが、小中学校では給食費をはじめ教材費など保護者負担の様々な集金が行われています。集金に当たっては口座引き落としだけでなく、校内において子どもを通して教員が現金を取り扱うこともあるようです。
	そこで、教員が子どもたちとたくさんの時間を一緒に過ごせるような環境整備についてと、子どもたちがいきいきと学び育つための学習環境について何うものです。
	(1) 教員が授業に専念できるための負担軽減について
	① 小中学校の教員が行っている仕事には授業以外にどのようなものがあるのか伺います。
	② 学校での保護者負担の集金についての取り扱い方法、さらに教員はその集金にどのように関わっているのか伺います。
	③ 市は県採用の教員のほかに市採用教師を雇っています。授業以外の様々な事務的な仕事をする市採用の職員を雇うことについて伺います。
	④ 私は小学校においても教科担任制をとる方がよいと考えています。教科の専門性をいかし、より分かりやすい授業ができる専科教員による授業を増やすことについて伺います。
	(2) 子どもの学習環境について
	① 小中学校の予算の中には、管理運営のための消耗品費や燃料費、図書費や教材購入費などがありますが、それを各学校にどのように配分しているのか、必要かつ十分な予算になっているのかについて伺います。
	② 子どもの成長は個人差があります。ひとりひとりの体格に合った机や椅子が用意されているのか伺います。また、手洗いや更衣室などは子どもたちにとって使いやすい仕様になっているのか伺います。

受付番号	平成26年 2月 7日
第//号	午前 11 時 40 分受付 午後

平成26 年 2月 17日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号 2 番

星 宏子



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成26年第1回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 子どもの食の安全と健康管理について	厚生労働省「食を通じた子どもの健全育成（一いわゆる「食育」の視点から）のあり方に関する検討会」報告書についての中に『食べ物、自然の中で生育した生物を収穫し、より食べやすく、おいしく、扱いやすく、保存しやすいように加工して流通され、調理され、食事として整えられ、食べられています。「自然・地域」、「生物」、「食べ物」、「人間」、これらの広く深い関わりが、「食の文化と環境」です。』と、あります。 子どもの健全な成長のためには、食は欠かすことのできない大切な役割を担っています。 昨年、東京調布市の小学校において、チーズ入りのチヂミを食べた児童が死亡する事故をはじめとする、アレルギーの問題や冬期に猛威をふるうノロウイルスの流行など、食を取り巻く環境は変化しております。また、昨年12月、「和食」がユネスコの無形文化遺産に登録され、和食の優れた食文化を子どもたちに伝承していくことも、とても大切です。給食の果たす役割も大きなものですが、以上のことを踏まえて伺いたいします。 (1) 「和食」を取り入れた食育の取組について伺いたいします。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(2) 地産地消を給食にどのように取り入れているかお伺いいたします。
	(3) ノロウイルス対策についてお伺いいたします。
	(4) 学校給食におけるアレルギー対策についてお伺いいたします。
	(5) アレルギーを持つ児童・生徒への健康管理は各小中学校にてそれぞれ行っておりますが、市としての統一した対応方針等についてお伺いいたします。
	(6) エピペン(アナフィラキシー補助治療剤)の講習会や研修会など、学校での取り組みについてお伺いいたします。
	(7) 現在、給食は教育総務課、健康管理は学校教育課と、分かれておりますが、アレルギーを持つ児童・生徒への対応の情報共有や連携についてお伺いいたします。
	(8) 子どもの体調は日々変化することを踏まえて、医師の診断による正しい情報、適切な健康管理は必要だと思いますが、本市の取組と現状をお伺いいたします。
	(9) 学校、消防署および病院の連携についてお伺いいたします。
2. 子ども子育て支援制度について	平成26年度市政運営方針 3. 健やかに安心して暮らせるまちづくりに 子どもに関わる全ての人々が「子どもの権利」を理解し、日常生活の中でも「子どもの権利」が尊重される生活環境整備に努めてまいります。とありました。
	子ども子育て支援制度により、待機児童ゼロを目標に、認定こども園、小規模保育への移行を本市においても進めており、ニーズ調査も終えたところです。今後、子どもの権利が尊重される

受付番号	平成26年2月17日
第12号	午後 11時45分受付

平成26年 2月17日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号25番 人 見 菊 一  印

市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成26年第1回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 那須地区食肉センターについて	那須地区食肉センターに関しましては、12月定例会において、「大田原と場ありかた検討会」代表より提出された請願に関し、審議し、その請願趣旨から、「本市における酪農は、生乳生産量の本州第1位という実績を受けて、市の発展に寄与した基幹産業であり、食肉センターは、酪農家の経営基盤を支える貴重な施設である」として、採択したところであります。 一方、食肉センターは、那須地区はもとより県内酪農家にとって経営基盤を支える、代替えの見当たらない貴重な施設であります。同施設は昭和46年に設置されたもので、老朽化により今後の維持管理に要する費用増は図りしれず、利用者減少傾向も加味しまして、平成30年度をもって廃止の方針がうちだされました。それらのことから、次のことを伺います。 (1)平成24年4月11日付で、那須地区広域行政事務組合正副管理者名で、県知事宛てに 屠畜施設設置に関する要望書を提出されたと伺っておりますが、その後の対応について伺います。併せて、本市独自の要望活動等を伺います。 (2)栃木県主催で設置された食肉センター整備検討協議会に対する、本市の関わり方について伺います。 (3)県が新たな食肉センターの設置に関して、本市内を指定したと仮定した場合に、対応できるのかお伺いします。

